

可也山

福岡県 糸島市 2026年 3月5日

小富士と呼ばれる糸島市自慢の秀峰



海を見下ろす展望が素晴らしい低山。標高は365mと覚え易い。

本日のコース <全行程 4時間39分>

日吉神社駐車場 9:54 → 可也山登山口駐車場 9:58 → 可也山登山口 10:06 →
石切場跡 10:47 → 第一展望所への分岐 11:06 → 可也神社 11:20 →
可也山山頂 11:28 → 可也山展望台 11:35 → 第一展望所 12:05<昼食>12:37 →
石切場跡 12:48 → 可也山登山口 13:13 → 日吉神社駐車場 13:33

昨年の8月に同じ糸島市にある立石山に登ったが、その際に車窓から見て印象深かった可也山を訪れた。お天気にも恵まれて山頂からの広大な眺めは絶景。昨夏登った立石山も眺めることが出来た。麓には小富士梅林があり、下山後に立ち寄ったが梅の盛りは過ぎていた。



日吉神社駐車場到着 9:42 可也山登山者に開放している
この駐車場は、可也山駐車場からすぐそばの高台にある。



日吉神社のポストと思ったら賽銭箱だった
「日吉神社、境内広場を利用して可也山登山の為 駐車される時は、安全祈願をして登って下さい。」日吉神社 総代会長 と書いた立て札があった。



登山安全祈願をしてスタート 9:54



広場の鳥居を潜り下へ降りて行く 9:55



可也山登山口駐車場 9:58 正面が可也山



民家の間を進んで行く 9:59



民家を抜けると… 10:05 前方左に登山口にある看板が見えてくる



可也山登山口 10:06 山頂展望所まで1850m



登山口にある看板は狩猟期間を知らせる注意喚起だった
 この日はまだ狩猟期間内なので注意して歩かなければならない



登山口から15分 10:21 尾根に乗って一息入れる



石切場跡 10:47



切り出し途中の大きな岩が転がっている
大岩の縁には打ち込んだクサビの跡が見事に残っている



可也山と石切り場

可也山は標高365メートル、東西約4キロメートル、南北2キロメートルの独立峰で、東方から望む山容は富士山に似ており、糸島富士或いは小富士などとも呼ばれている。

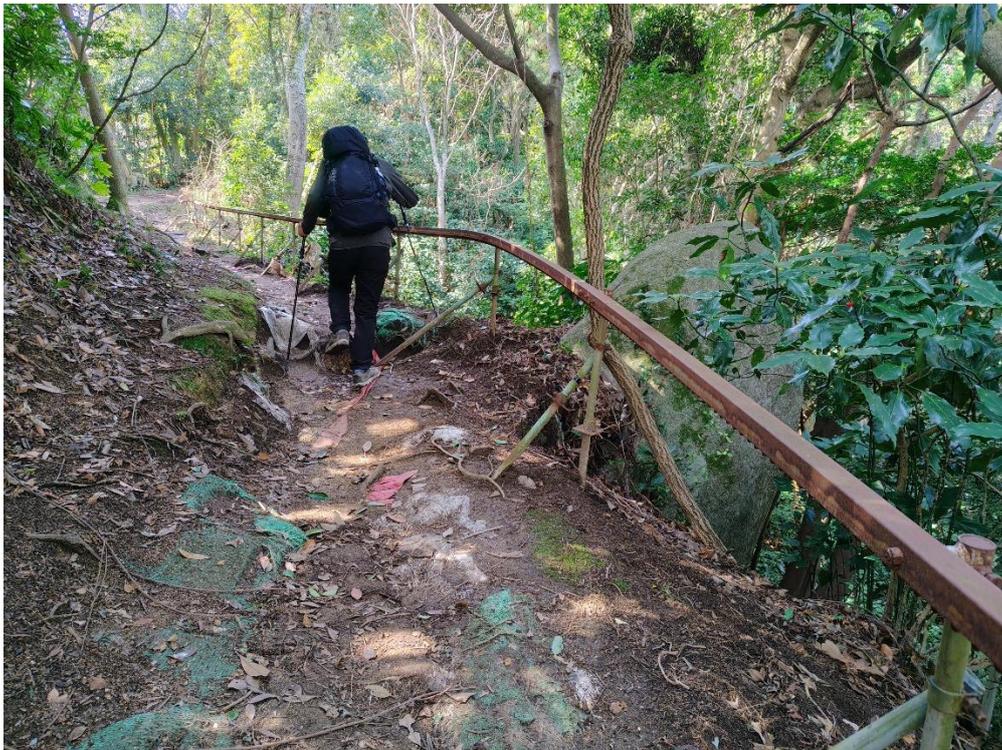
万葉集巻十五に「草枕 旅を苦しみ 恋ひおれば 可也の山辺に さ雄鹿鳴くも」と詠まれているように古くから知られた山で、その名は朝鮮半島の伽耶地方に由来するとの説もある。

山塊は大部分が花崗閃緑岩からなるが、頂上付近には火山活動で噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や神社などの石造物の材料として利用された。

有名なところでは、栃木県日光東照宮、江戸城紅葉山、警固神社、桜井神社などの石鳥居の造立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年(1618年)に黒田長政が普請した、江戸時代のものとしては我が国最大の日光東照宮大鳥居の造立の際には、難儀の末、六十トンを超える巨石をこの山から切り出し、海を渡り川を上らせ、遙々日光まで運搬したという顛末が「黒田家譜」などの文献に記されている。現在のところ、明確にその時期まで遡及できる石切り場跡は確定されていないが、山腹の巨石に現在でも数多く残る矢穴(楔痕・くさびあと)が往時の様子を偲ばせる。 志摩観光協会 (説明看板より)



アンテナ塔のある広場に出た 11:03 通過

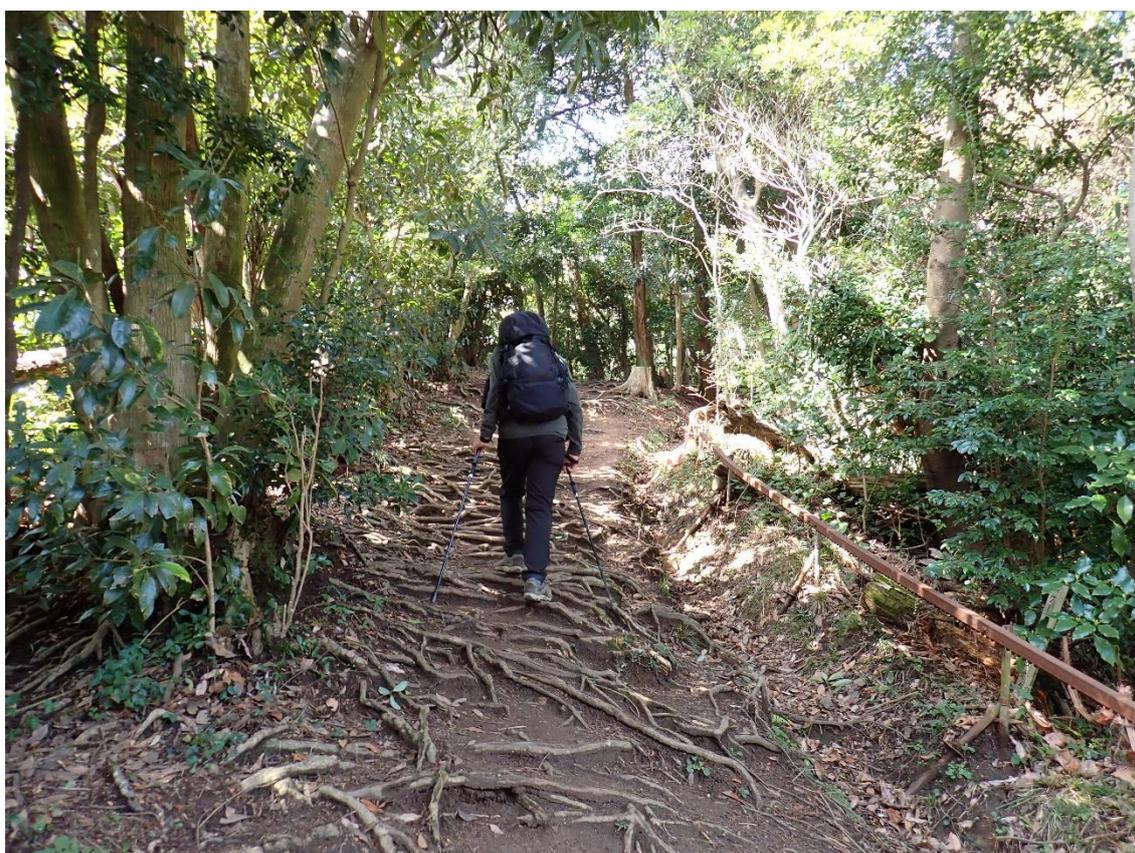


「んっ？」このレールは何だ？ 11:03

調べてみると、このレールは1980年代に可也山南側斜面に観光リフトが存在していたらしく、現在の第一展望所がリフト降り場になっていたとのことだった。



第一展望所への分岐 11:06 第一展望所へは立ち寄らず山頂を目指した！



木の根が露出した登山道 11:07 根に躓(つまづ)かないように慎重に歩く



小富士梅林への分岐 11:11 登山道の中央に石碑が立っているが...



登山道中央に「境石」 11:12 筑前と肥前の境ではないと思うし、よくわからない。



奥の院 11:17 この立派な祠の中には弘法大師 空海が祀られている。



綺麗に掃除されている。手を合わせて通過。



可也神社 11:20 登山道は神社の裏側から続いている

神武天皇、木花開耶姫命(このはなのさくやびめ)、倉稻魂命(うかのみたまのみこと)を祀る神社。明治時代の文献には、小金丸村の氏神である熊野神社の摂社のひとつとして記録されています。もともと、可也山の山頂付近に熊野神社があり、それが江戸時代中期に麓の親山の場所に移ったと記されており、もとあった場所が現在の可也神社として祀られているのではないかと推察されています。現在の石祀や境内は、皇記 2600(西暦 1940)年を記念して整備されたものです。

この神社が建つ可也山(かやさん)は、富士山に似た優美な姿から、糸島富士、小富士などと呼ばれ、古くから崇敬を集め親しまれてきました。神武天皇は、日向の国から東征に向かう際に、国見をするためにこの山頂に立ち寄ったという言い伝えがあります。(ネット調べ)





可也山山頂 11:28 365m 展望所まで100m



展望所まであと少し



可也山展望台 11:35



祈念に一枚



糸島の山々の山頂には木札が置いてある。
昨年の8月に登った立石山でも記念に頂戴しました。



可也山から立石山を望む(手前の木々に隠れて全景は見えない)



展望所に咲いていたツバキ
15分程山頂で景色を楽しんで展望所を後にした
下山は往路を戻る



第一展望所への分岐から第一展望所へ向かう 12:04



第一展望所 12:05<昼食>12:37 正面にアンテナ塔
ベンチに座って昼食をとったが、30分も座っていると風が冷たく体が冷えてきた。



急勾配の階段を下って行く 12:45 ちょっと怖かった
上る際もきつかったが、下りは急勾配なので転げ落ちないように慎重になる。



石切場跡 12:48 休憩せずに通過



可也山登山口 13:13



可也山登山口駐車場 13:22 トイレも完備されていて有難い



日吉神社駐車場 13:33 ゴール

4時間39分の山歩きが終了
スマホの歩数計は11442歩
T師匠お世話になりました
お疲れ様でした。